

『ヘイケボタルの幼虫』展示につきまして

岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ（所在地：岐阜県各務原市、館長：堀 由紀子）では、6月1日より、バックヤードにて飼育しておりましたヘイケボタルの幼虫を展示することになりましたのでお知らせいたします。

このヘイケボタルの幼虫は、平成18年6月に岐阜県内の水路で採集した成虫を産卵させて育てたもので、水族館バックヤードにて管理、飼育してまいりました。

ホタルは日本では、鑑賞や文学、詩歌、俳句など人間と深い関わり合いを持ち、夏の風物詩として親しまれている昆虫の1つです。近年では、人々の暮らしと共に水辺周辺の生息環境が悪化しホタルの棲める環境が激減してきており、また、町おこし等でむやみな放流が行われ、遺伝子攪乱などの新たな問題も起きています。

今回は、成虫とは全く姿が異なり、普段あまり目にする事のない幼虫の姿をご覧頂くとともに、再度ホタルの棲める環境を見つめ直していただけるきっかけになれば幸いです。

「ヘイケボタルの幼虫」展示

展示日：平成19年6月1日（金）～

展示場所：岐阜県世界淡水魚園水族館 “アクア・トト ぎふ” 水族館3階

展示内容：ヘイケボタルの幼虫およびヘイケボタルの一生を解説したパネル展示
料 金：入館料金のみでご覧いただけます。

<ヘイケボタル概要>



展示生物：5令幼虫
(約15mm)

ヘイケボタル

学名：*Luciola lateralis*

英名：Japanese firefly

分類：甲虫目 ホタル科

分布：北海道から九州、対馬

成虫は6月頃から田んぼや水路などでよく見られ、夜になると発光し飛び回ります。寿命は約一週間でコケなどに卵を産みつけます。幼虫は、水中生活をおくりヒメタニシやカワニナなどの巻貝を食べて育ち、4回脱皮して5令（終令）幼虫になり、5月から6月に上陸し土の中で蛹になります。卵、幼虫、蛹、成虫の全てが発光します。



ヘイケボタル

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館 担当／北川・高木・池谷 TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

<お客様からのお問い合わせ先は>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トト ぎふ) TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

公式ホームページ <http://www.aquatotto.com>

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 河川環境楽園内

営業時間：9:30～18:00(最終入館 17:00)

※6月11日(月)は休館日です。